



学校だより

北海道小平高等養護学校

令和 8 年 3 月 6 日

第 4 号(通算118号)

# 温 寧 の 丘

## 卒業生へ「お祝いの言葉」

北海道小平高等養護学校長 齋 藤 利 文

皆さんはこの三年間、「夢に向かって挑戦し、未来を切り拓く人を育てる」という本校の教育目標のもと、「自己を理解する力」「他人を理解する力」「情報を収集する力」「協働する力」「コミュニケーション力」「地域で生活する力」の6つの資質・能力を育み、確かな成長を遂げてきました。

入学当初、皆さんはそれぞれに不安や悩みを抱えていたことでしょう。しかし、仲間と寝食を共にし、共に支え合い、先生方と共に歩み、挑戦を重ねてきた日々により、確実に皆さんの力となって、卒業へとつながりました。

自分を律し、目の前の課題に真摯に向き合う姿勢は、私たちにとっても大きな感動と学びを与えてくれました。

この三年間、校長として皆さんと共に歩んできたことは、私にとっても何よりの喜びでした。皆さんの悩みにそっと寄り添い、成長を見守る日々の中で、その一つひとつの瞬間が私の心を揺さぶり、教育の尊さを改めて教えてくれました。

修学旅行では、新しい体験に胸を躍らせながら、互いに支え合い、励まし合う皆さんの姿にとっても感動しました。一人ひとりの優しさや思いやり、そして仲間を大切にしている気持ちに触れたとき、私は心の奥から「ああ、この子たちは本当に強くて、優しい」と感じました。

日々の学校生活の中では、悩みながらも前を向いて進もうとする皆さんの姿に、私自身も何度も励まされました。皆さんと過ごした時間は、特別な出来事だけでなく、何気ない瞬間の中に深い意味がありました。——その一つひとつが、教育の「ぬくもり」と「力」を私に教えてくれました。皆さん一人ひとりの歩みを、心から誇りに思います。

卒業後、皆さんはそれぞれの道へと進みます。社会の中で自立し、夢に向かって歩いていくことにはなりますが、自立とは一人で生きていくことではありません。誰かを支え、誰かに支えられ、共に創り上げていくことこそが、自立の本質です。

どうか、「好奇心」「持続力」そして「対話」の三つの力を胸に、これからの人生を歩んでください。失敗を恐れず、挑戦を続け、他者と心を通わせながら、皆さんらしい未来を切り拓いてほしいと願っています。

保護者の皆様に申し上げます。お子様が今日、晴れて卒業の日を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。三年間、喜びも悩みも共に歩まれ、支えてこられたご苦勞はいかばかりかと拝察いたします。私たち教職員は、ご家庭での温かな支えがあつてこそ、今日の日を迎えることができました。深く感謝申し上げます。

卒業生の皆さんが、これから社会の中で自立し、歩いていけるよう、これからも応援し続けます。みなさんの前途が、明るく幸多からんことを祈ります。

卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。

# 卒業にあたって

3 学年主任

卒業おめでとうございます。

三年前の四月、親元を離れ、新たな仲間との学校生活、そして寄宿舎生活がスタートしました。初めて会う友達や先生に囲まれ、不安と期待が入り混じった気持ちで小平高等養護学校に入学した皆さんの姿が、昨日のこのように思い出されます。

この三年間、何の困難もなく、悩みもなく今日という日を迎えた人は一人もいないはずですが。慣れない共同生活、思い通りにいかない学習、人間関係の悩み……。皆さんは、たくさんの壁にぶつかりながらも、それらを一つひとつ乗り越えて、今、卒業証書を手にはしています。

今年の四月からは、社会人として働く人、大学へ進学する人、それぞれが別の道を歩み始めます。これからの道も、決して平坦ではありません。必ずどこかで「困難」という壁に突き当たることでしょう。そんなときは、絶対に一人で抱え込まず、誰かに相談してください。社会に出ると、自分一人では解決できないことがたくさんあります。誰かに話すことで気持ちが整理され、アドバイスの中に解決の糸口が見つかることが必ずあります。

「自立」とは、何でも一人で完璧にこなすことではありません。困ったときに信頼できる相手を頼り、相談しながら、自分で進むべき最善の道を見つけていけること。それこそが、「自立」なのだと思います。

この三年間で培った強さと、仲間と支え合った経験を糧に、一步ずつ自分のペースで歩いていってください。皆さんの新しい門出が、笑顔あふれるものになるよう、心から応援しています。



## 「総合学習成果報告会」を行いました

教務主任

2月13日金曜日4・5校時に総合学習成果報告会が行われ、各学年が今年1年間学習した事についてのまとめを報告しました。この学習は単なる「調べ学習」とは異なり、生徒達が自ら課題や問いを設定し、その答えに向かって工夫しながら探究する学習となりますが、成果だけでなく課題もしっかりまとめるなど、各学年が工夫し報告を行うことができました。

最後に教頭先生から「タブレット端末で調べたことについて、そのままコピーして貼り付けるだけでなく、疑問をもつことや、しっかり理解することが大切であること」と講評をもらいました。

当日はコミュニティスクールの委員の方々や、たくさんの保護者の方に見ていただいた中での報告会となりました。寒い中のご来校ありがとうございました。また、地域の方々には、今年度も見学や体験に関わりたくさにご協力頂きました。心より感謝申し上げます。

